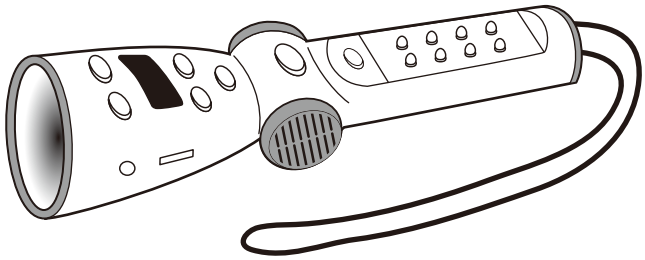
防災ラジオライト
JF-ERL1W　取扱説明書

保証書付き

●取扱説明書をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。http://www.j-force.net

キリトリ線

保　証　書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には、本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

製品名	JF-ERL1W	
保証期間（お買い上げ日より）	1年間	お買い上げ日　　年　　月　　日
フリガナ お名前 ご住所　〒　　－ 電話番号(　　　)　　－		
不具合記入欄		
取扱販売店名・住所・電話番号	取扱販売店印	

販売元　株式会社フォースメディア
〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-13-12 COI 五反田ビル 9F
電話：03-5798-5609
メール：support@forcemedia.co.jp
受付時間：平日 午前10時～12時／午後13時～17時まで
お電話での対応は、祝祭日および弊社指定休業日を除く、受付時間内での対応とさせていただきます。
お電話の際は、「製品名・購入店舗・購入日」がわかるものをお手元にご用意ください。

キリトリ線

ご使用の前に必ずご確認ください

お住まいの地域で聴取可能なラジオ放送局が、緊急地震速報・緊急警報放送に対応しているかご確認ください。

緊急地震速報（EEW）とは

地震波が2点以上の地震観測点で観測され、最大震度が5弱*以上と予測された場合に気象庁が発表する予報および警報です。地震の大きな揺れが始まる数秒から数十秒前に、その到達時刻と震度を推定し、事前に通知することを目的としています。*各放送局により放送する震度が異なります。
気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁のホームページ（http://www.jma.go.jp/）をご覧ください。

ご注意！ NHKは全国の緊急地震速報を放送します。そのため、本機は設置した地域と関係のない緊急地震速報でも受信し、警報動作を行います。

緊急警報放送（EWS）とは

大地震や津波などの災害発生をいち早く伝える放送です。災害が発生した際に、テレビやラジオから「ピロピロ」という警報音を発し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせることを目的としています。都道府県知事の要請に応じてNHKをはじめとする各放送局により放送されます。具体的には、人命や財産に重大な影響のある以下の3つの場合に限って放送されます。
■東海地震の警戒宣言が発せられた場合
■津波警報が発せられた場合
■地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合
緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。
内容により、第1種、第2種に区別され放送されます。

放送の内容区分	
・大規模地震の警戒警報	第1種
・災害対策基本法に基づき地方公共団体の長が発する災害に関する警報	第1種
・津波警報第2種	第2種

本機は第1種、第2種両方の緊急警報放送を受信できます。

緊急地震速報・緊急警報放送を聞いたら

まずは身の安全を確保することを第一に、落ち着いて行動することが大切です。家の中での対応が基本ですが、学校や職場など、外出中に緊急地震速報・緊急警報放送を見たり聞いたりしたときの行動についても考えておくことが重要です。また、実際に災害が発生したときにあわてず適切な行動がとれるよう、日ごろから災害に対する十分な心がまえをしておきましょう。

災害への心がまえ
- 地震時に備え、家屋の耐震化や家具の転倒、落下防止などの対策はしているか。
- 消火器や避難時の懐中電灯、ラジオ、非常食、飲料水など非常用持出品は備えているか。
- 自宅や勤務先などの周囲に、災害発生時に危険となる場所がないか。
- 事前に避難施設の場所、またそこまでの避難路を確認しているか。
- 家族間の連絡方法などは決まっているか。

使用上のご注意

- 震度5 弱以下と予測された場合でも、地域によっては緊急地震速報が放送される場合があります。
- 直下型地震の場合、地震の揺れが発生してから緊急地震速報が放送される場合があります。
- 各ラジオ局によって放送する緊急地震速報の震度が異なる場合があります。
- 気象庁が地震の発生を予測できない場合、緊急地震速報は放送されません。
- 通常の放送中に緊急地震速報のチャイム音に似た音が放送された場合、本機は警報動作を行うことがありますので予めご了承ください。
- 本機の緊急地震速報・緊急警報放送の受信動作については弊社にて十分確認を行っており情報発信元であるNHK ならびに民放ラジオ放送局が責任を負うものではありません。

設置場所について

- ラジオ放送を良好に受信できる場所に設置してください。
- 本体の向きによって受信感度が変わります。最適な位置・方向を探してください。

<次のような場所には設置しないでください>
落下の危険があるような不安定な場所
テレビ・パソコン・OA機器・電子レンジ・無線機器の近く

試験信号放送について

- 毎月1日午前11:59～12:00にNHKの試験信号放送による動作確認を行えます。
設定方法に関しては、**操作方法 3** 緊急放送の設定をご覧ください。
- 試験信号放送受信時には、液晶画面内に【試験中】の文字が点滅し、ライトとランタンが点滅します。ラジオのミュートは解除されません。
信号受信後、約1時間で自動的に待機状態へ戻ります。
すぐに待機状態へ戻す場合は、「設定/待機」ボタンを短押しします。

試験信号受信時の動作				
	ライト・ランタン	▶点滅	1時間継続	待機状態へ
	液晶画面	▶点灯		
	液晶画面「試験中」	▶点滅		
	液晶画面「EWS」	▶点灯		
	音声放送なし			

免責事項

- 本機自体で地震や災害による被害・損害を回避または軽減するものではありません。
- 万一本機の不具合、誤った設置やお取り扱いなどにより速報・警報の受信、報知ができなかった場合でも、災害によって生じた被害・損害について保証するものではありません。

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。
⚠注 意	けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号			行為を指示する記号	
一般的注意	禁 止	分解禁止	ぬれ手禁止	一般的指示	電源プラグを抜く

⚠警 告

ACアダプターのコードを破損するようなことをしないでください
禁 止
製品と壁や床などの間に挟み込まない
加工したり、傷つけたりしない
重いものをのせたり、引っ張ったりしない
熱器具に近づけたり、加熱したりしない
ACアダプターを抜く時は、必ず本体を持って抜く
火災・感電などの原因となります。

煙・異臭・異音が出た場合、落下・破損した場合は、使用を中止し、ACアダプターを抜いてください
落としたり、水がかかったり、破損した場合は使用を中止し、ACアダプターを抜く
煙やにおい、音などの異常が発生したら、使用を中止し、ACアダプターを抜く
火災・感電などの原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠警 告

不安定な場所に置かないでください
禁 止
落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

水をかけたり、ぬらしたりしないでください
禁 止
火災・感電・故障の原因となります。

浴室やシャワー室では使用しないでください
浴室での使用禁止
本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。

水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください
禁 止
火災、感電の原因となることがあります。

近くに花瓶など水の入ったものを置かないでください
水ぬれ禁止
水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。

バッテリーおよびACアダプターは必ず本機に付属のものをご使用ください
注 意
本機に付属の専用バッテリー・専用アダプターをお使いください。付属品以外のものを使用した場合、バッテリーの液もれや発熱、破裂および発火などの原因となります。

分解・修理・改造をしないでください
分解禁止
けがや感電などの事故または故障の原因となります。

ACアダプターにホコリなどが付着しているときは、ACアダプターを抜いて乾いた布で取り除いてください
ほこりを取る
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください
ぬれ手禁止
感電の原因となることがあります。

ACアダプターは確実に差し込んでください
確実に差し込む
差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠警 告

AC100 V以外での使用、コンセント・配線器具の定格を超える使用、タコ足配線をしないでください
禁 止
火災や感電の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、ACアダプターに触れないでください
接触禁止
感電の原因となります。

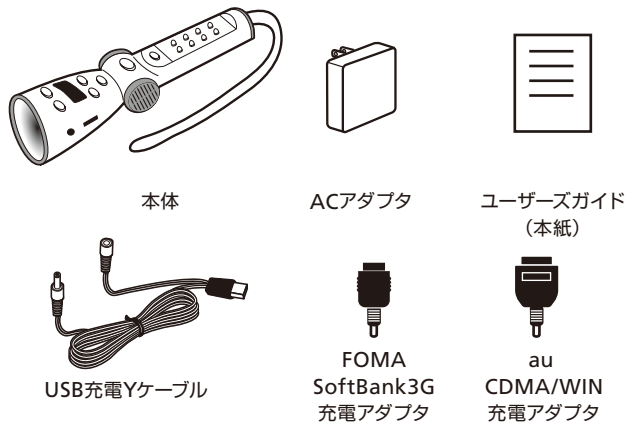
端子部に異物を差し込んだり、針金などの導電物を差し込んだり、接続したりしないでください
禁 止
感電・火災・故障の原因となります。

お手入れや長時間使用しないときはACアダプターを抜いてください
電源プラグを抜く
感電や故障の原因となることがあります。

移動するときは、ACアダプターをはずしてください
接続線をはずす
コードが傷つき感電や故障の原因となることがあります。

⚠注 意

お手入れをするときはシンナーやベンジンなどの薬品を使用しないでください
禁 止
変質、変形、変色の原因となります。

本体と付属品

本体

ACアダプタ

ユーザーズガイド
（本紙）

USB充電Yケーブル

FOMA
SoftBank3G
充電アダプタ

au
CDMA/WIN
充電アダプタ

各部の名称

正面

AM/FMボタン

設定/待機ボタン

本体充電
DCジャック

携帯充電用
USB充電ポート

ーボタン

+ボタン

サイレンボタン

音量調整つまみ

スピーカー

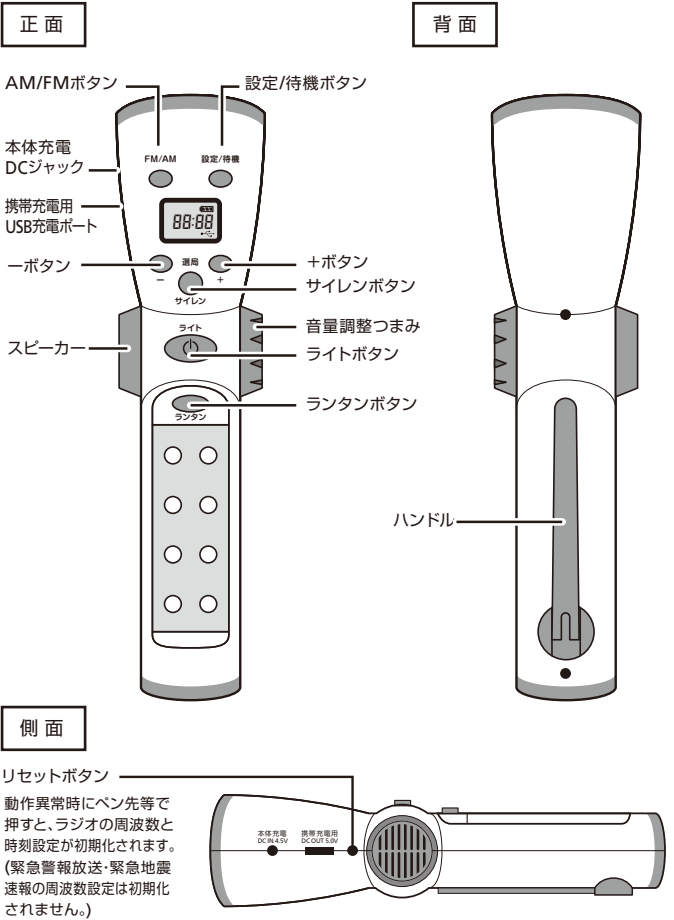
ライトボタン

ランタンボタン

背面

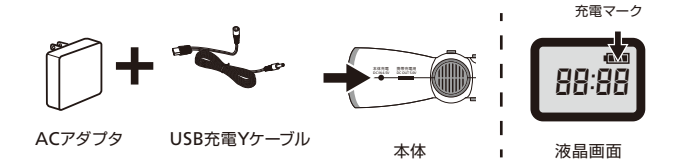
ハンドル

側面

リセットボタン
動作異常時にペン先等で押すと、ラジオの周波数と時刻設定が初期化されます。(緊急警報放送・緊急地震速報の周波数設定は初期化されません。)

準備をする

製品を充電をする

A：コンセントから充電

「ACアダプタ」と「USB充電Yケーブル」のUSB端子を接続して、本体側面の「本体充電DCジャック」に、DCプラグを差し込んでください。液晶画面内の [電池マーク] が点滅します。点滅が終了したら充電完了となります。本体残量が無い場合(残量10%時)、液晶画面の残量表示が点滅します。緊急時の電池切れを防ぐために、通常は常に充電状態にしておくことをお勧めします。

B：手回し充電

製品背面のハンドルを回転して、充電が可能です。ハンドルは一定の速度で(2.5～3回／秒)回してください。回す速度が遅すぎると電流が減り充電時間が長くなります。力を入れすぎると故障の原因になりますのでご注意ください。回転時には指などを怪我しないように十分ご注意ください。

操作方法 1

①時計の設定

1 充電されていることを確認して、製品側面の「音量調整つまみ」でラジオの電源がOFFになっていることを確認してください。充電状態は液晶画面で確認できます。[電池マーク] の状態で満充電です。

2 AM/FMボタン長押し(約3秒)すると「時間」が点滅します。「+／ーボタン」で任意の時間に設定します。さらにAM/FMボタンを押すと「分」が点滅するので、同様に「+／ーボタン」で設定します。完了する場合は「AM/FMボタン」を短押ししてください。

操作方法 2

②LEDライト／ランタン

1 製品本体の「ライトボタン」でライトとして使用できます。1回押しで点灯、2回押しで点滅、3回押しで消灯になります。

2 ランタンボタンを押すと点灯します。再度押すことで消灯になります。

③ラジオ（通常のラジオ）

1 「音量調整つまみ」を回し、電源を入れてください。立ち上がり時は、前回最後に聞いたAMまたはFMの周波数が表示されます。

2 「AM/FMボタン」短押しでAM/FMの切り替えができます。
「+／ーボタン」で周波数の調整ができます。
「+／ーボタン」長押しで周波数のオートサーチができます。
「+／ーボタン」短押し時、FMの場合0.1ずつ、AMの場合9ずつ増減します。

④サイレン

「サイレンボタン」を押すとライトが点滅し、サイレンが鳴ります。

操作方法 3

緊急放送の設定

「音量調整つまみ」を回しラジオの電源をONにしてお好みの音量にします。
緊急地震速報・緊急警報放送を受信するラジオ放送局の周波数を設定します。

1 操作方法2 ③ラジオ(通常のラジオ) を参照し受信する放送局の周波数を選びます。通常はNHKに設定することをお勧めします。

2 「設定/待機ボタン」を長押し(約3秒)してください。液晶画面の【設定】の文字が3回点滅するまで「設定/待機ボタン」を押し続けると、**1** で選んだ周波数が緊急放送として設定されます。

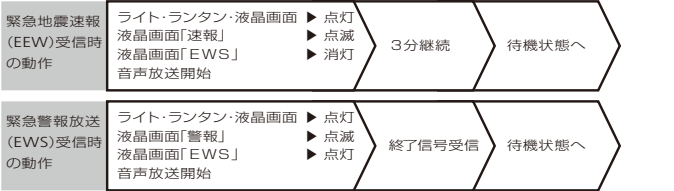
3 「設定/待機ボタン」短押しで待機状態になり、液晶画面に【監視中】の文字が点滅されます。緊急放送の信号が受信されると **2** で設定した周波数の番組が放送開始され、LEDライトが点灯します。

4 警報放送(EWS)の場合、終了信号があり、終了信号受信後、自動的に待機状態に戻ります。

5 その他、終了信号が無い場合、3分間無操作で自動的に待機状態に戻ります。手動では、「音量調整つまみ」でラジオのスイッチをいったんOFFにし、再度ONにし、設定/待機ボタン短押しで待機状態に戻します。

6 待機状態を解除するには、「設定/待機ボタン」を長押し(約3秒)してください。

警報放送受信時の動作

警報放送受信時は「ランタン点灯」「ライト点灯」「ラジオミュート解除」の動作をします。
※ミュート解除時のラジオ音量は、ボリュームつまみの位置にかかかわらず、最大音量の約70%になります。

操作方法 4

携帯電話を充電をする

待機状態およびラジオがONの状態での携帯電話やスマートフォンの充電は行えません。待機状態を解除・ラジオをOFFにしてから充電を行なってください。

製品側面の「携帯充電用USBポート」にUSB充電Yケーブルを差し込んでください。お手持ちの携帯電話にあわせた充電アダプタを使って、携帯電話を充電することが可能です。iPhone・スマートフォンの場合は機種に付属のUSB充電ケーブルを使って接続してください。

上図の通りつないだら携帯電話を接続してください。
「ーボタン」を長押し(約3秒)すると充電が始まり、液晶画面にUSBロゴが表示がされます。「ーボタン」長押し、または「音量調整つまみ」の操作を行うと充電が終了し、液晶画面のUSBロゴの表示が消えます。

本製品の電池残量が30%以下の場合、携帯電話の充電が行えない場合がございます。携帯の充電機能は、すべての携帯電話やスマートフォンの充電を保証するものではありません。機種によっては充電できない場合もありますのでご了承ください。

保証とアフターサービス

修理・使い方・お手入れなどは…
■まず、お買い求め先へご相談ください。
お買い上げの際、記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日
販売店名	電話番号(　　　)　　ー

お取扱い方法についてのご相談およびアフターサービスのご案内
販売元 株式会社フォースメディア
電話：03-5798-5609
メール：support@forcemedia.co.jp
受付時間：平日 午前10時～12時／午後13時～17時まで
お電話での対応は、祝日および弊社指定休業日を除く、受付時間内での対応とさせていただきます。
お電話の際は、「製品名・購入店舗・購入日」がわかるものをお手元にご用意ください。

■仕様

項目	仕様
FM受信周波数	76～108MHz
AM受信周波数	522～1620kHz
警報検出方式	緊急警報放送: ARIB標準規格BTA R-001に準拠したFSK信号 緊急地震速報: NHK方式緊急地震速報チャイム音
実用最大出力	0.5W
LEDライト連続点灯時間	フル充電時:14～16時間
ラジオ連続動作時間	フル充電時:最大音量時:6～8時間
充電時間	約8時間
電源	内蔵充電池
充電方式	ACアダプタ充電/手回し充電
消費電流	35～40mA(待機状態)、100mA(最大)
外形寸法	L240×Φ61㎜(突起部除く)
質量	235g(本体のみ)
動作環境	0℃～40℃
同梱品	本体、USB充電Yケーブル、ACアダプター、 携帯充電用変換アダプター(au、FOMA・SoftBank3G)、ユーザーズガイド/保証書

キリトリ線

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　●無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
　●お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　●使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　●お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
　●火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
　●車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　●一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
　●本書のご提示がない場合
　●本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お客様ご相談窓口は、取扱説明書をご参照ください。

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※This warranty is valid only in Japan.

キリトリ線